

共同生活にあたってのお願い
(コンプライアンスマニュアル)

大谷専修学院
2022年4月6日策定

学院における共同生活は、原則として学舎、食堂、学寮での生活となります。

『本願寺修練舎大谷専修学院規則』『2022年度 大谷専修学院 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン』『体調不良時・症状別対応マニュアル』を遵守し、共同生活においては感染リスクの高い行動(特に会食、マスクを外した際の複数人での会話)を避け、不要不急の外出は慎んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

なごやかな人間関係が生まれ、お互いの学びが実りあるものとなることを願い、下記の事項についても遵守いただきますよう、重ねてお願いいたします。

- 必ずマスクを着用して生活してください。また、朝夕の勤行（お勤め）、声明・音楽の授業においては、感染拡大防止の観点より不織布マスクの着用をお願いします。
- 食事や入浴時など、マスクを外した際の会話はお控えください。
- 共同生活において複数人で会食しに行くことを禁止します。
- カラオケ店は、必ず1名での利用をお願いいたします。（複数人で行くこと、利用することを禁止します。）
- 掃除、勤行、食事、授業の前後や合間、様々なものに触れる前後には、こまめにハンドソープで手を洗い、手を拭いた後アルコール消毒を行ってください。
- 授業や勤行、ミーティング等の際はこまめに部屋の換気をおこなってください。
- 共用部分各所については定期的に消毒作業を行います。
- 毎朝夕の登院前・帰寮後に検温し、健康観察表に記入後、班担当職員に提出してください。
- 外泊の際、宿泊地からの入寮や登院ごとに、抗原検査を実施し報告してください。
- 体調がすぐれない場合は、必ず職員に申し出、「症状別対応マニュアル（ガイドライン収載）」に従い行動してください。
- 入学案内に記載されているゲーム類等の持ち込みや、かけごとを禁止いたします。
- 学舎、学寮、またはその他の場所において、どのようなことがあっても暴力に訴えないでください。

- 金品の貸し借りを禁止いたします。また、紛失がおこらないよう自己管理をしっかりとし、生活環境を整えてください（持ち物には自分の名前を書いてください）。
多額の現金・貴重品などについては班担当職員に相談のうえ預けてください。
- 言葉や動作、仕草が人への不快、嫌がらせ（ハラスメント）にならないように、お互いの人格を尊重してください。特に男性・女性の関わり方については、くれぐれも社会的節度を遵守してください。
- 法令を遵守すること。20歳未満の飲酒、喫煙は禁止されています。
- 学舎、学寮の喫煙所（喫煙室）の使用定員を1名といたします。

□飲酒について

感染拡大防止の観点より、学舎・学寮内はもとより共同生活全般において、飲酒を禁止します。修道規範として、下記の文章をお読みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆「^{おんじゅ}不飲酒戒」について

古来、仏弟子には、いのちの尊厳を大切にす生活基準として、仏より五戒

【①^{せつしやう}不殺生、②^{ちゆうとう}不偷盗、③^{じやいん}不邪淫、④^{もうご}不妄語、⑤^{おんじゅ}不飲酒（^{じやけん}不邪見）】が伝統的に授けられてきました。「不飲酒戒」が設けられた理由については、「飲酒の六失」として次のように教えられています。

「財を失し、病を生じ、鬭諍し、悪名流布し、恚怒暴生し、智慧の目損なう」
（『長阿含経』）

五戒の最後に不飲酒戒がたてられたのは、「智慧の目損なう」と示されるように、物事を正しく見ることができなくなる「邪見」（自分勝手な見方・判断）におちいるからであると教えられています。

コロナ禍という状況下ではありますが、他者と共にあるとす健康な精神を養うため、感染防止対策に共に尽力していきたくと思っております。

「飲酒禁止」につきまして、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

□休日の過ごし方などについて

【移動の制限について】

「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の適用されている地域を往来することを原則禁止いたします。また、京都市が適用された際は、共同生活における移動範囲を山科区内に制限し、公共交通機関の利用を原則禁止いたします。

また、感染防止、紛失や盗難防止の観点から、自分が所属する寮以外の立ち入りを禁止します。

日頃より感染防止対策において節度ある行動を心がけてください。

【スマートフォン・携帯電話について】

スマートフォン・携帯電話は今や生活必需品になりつつあります。そのような時代社会の中で大谷専修学院は、「共同生活」を通して、「一人一人が仏教（真宗）と向き合い、自分自身、目の前の他者と向き合うこと」を大事したいと考えています。そのため、持ち込まれたスマートフォン、携帯電話を預からせていただき、平日の使用や「スマートフォン、携帯電話」以外の電子機器の持ち込みについても原則禁止しております（通信・通話に関する契約を無効にしているものも含みます）。

緊急時の連絡手段や感染症についての情報の確保等に鑑み、休前日の夕食後より休日の就寝時までの時間帯に限り使用を認めておりますが、基本的には学舎、学寮における「生活学習」を大事にさせていただきたいという願いのもと、学院を開放しております。「スマートフォン、携帯電話」については、くれぐれも節度ある使用を心がけてください。

また、お預かりした携帯電話・スマートフォンについては、休前日にお返しするまでの間、できる限り丁寧な保管管理に気をつけてまいります。が、故意または重大な過失があった場合を除き、保管中に発生した故障等における責任は負いかねますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

【食事について】

休日は学院の食堂を閉鎖いたします。各自で食事をとっていただくよう、よろしく申し上げます。その際、感染防止対策として複数人での会食はお控えください。

学寮にてテイクアウト（フードデリバリーの使用も認めます）の食事をとる際も、複数人での会食は控えるようお願いいたします。

以上、この『共同生活にあたってのお願い（コンプライアンスマニュアル）』および、『本願寺修練舎大谷専修学院規則』『2022年度 大谷専修学院 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン』『体調不良時・症状別対応マニュアル』の遵守に同意いただいたうえで、大谷専修学院へご入学いただきますようお願いいたします。

皆様お一人おひとり感染対策にご尽力いただきながら、学院生、職員ともども今年度の大谷専修学院の「学院づくり」を行ってまいりたく思っております。ご協力のほどよろしく申し上げます。